

原 一男さん(ドキュメンタリー映画監督)

講演

「記録する快感」

市民メディアねっと 第22回例会

原一男さんは、1972年「さようなら
CP」で華々しくデビューして以来、

対象に肉薄する独自の
手法で日本のドキュメ
ンタリー映画界を牽引
してきた。74年には
「極私的エロス・恋歌
1974」で、自らを映像
の対象とし、87年には

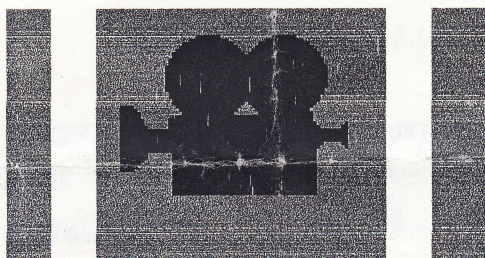
戦争責任を問う奥崎謙三氏に密着して
「ゆきゆきて、神軍」を作った。94年

には井上光晴氏を主人公に「全身小説
家」を監督。寡作だが常に話題作を作

り、日本映画監督協会新
人賞を受けたほか、パリ
のドキュメンタリー映画
賞大賞受賞など、海外の
評価も高い。

今回の講演のタイトル
は「記録する快感」。原

一男さんのドキュメンタリー作りの真
髓を話してもらう。



日時:2005年11月10日(木)19:00~21:00

場所:ドーンセンター5階 視聴覚スタジオ

参加費:1000円(会員800円)

申し込み・問い合わせ:

06-6370-1021(下之坊まで)

syuuko@osk4.3web.ne.jp

主催:市民メディアねっと

(<http://www.tunagu.gr.jp/cmn/>)